

1. 鯨ヶ沢漁業用海岸局

I 事業目的

試験船，取締船並びに一般漁船との指導監督，漁業通信を行なうことにより，人命財産の保全，操業秩序の維持，漁場適正管理及び外国 200 海里水域内の安全と海難防止を図り，併せて漁業経営の安定と福祉向上に資する。

II 事業内容

1. 実施期間 昭和54年4月1日～昭和55年3月31日
2. 交信海域 青森県沖合全域，北部太平洋海域，北海道沖合全域
3. 担当者 局長 長谷 繁 蔵
総括主任 竹 森 武 一
主任 工 藤 衛
主任 大 友 守

4. 取扱通信種別

(1) 指導監督通信

- イ 日本海さけ・ます漁業位置報告通信
- ロ 試験船及び取締船との通信
- ハ 調査協力漁船との漁海況情報通信
- ニ 漁海況情報収集並びに速報通信
- ホ 日韓共同規正水域位置報告通信
- ヘ 200 海里内漁獲報告通信

(2) 遭難，緊急，安全通信

(3) 漁業，指導通信

5. 通信方式

- (1) 無線電話（SSB方式）による送受信
- (2) 気象，漁海況のファックス受信
- (3) SOS自動受信機による無休聴守
- (4) セルコール送信機による通信

6. 勤務形態

宿日直制勤務

Ⅲ 事業結果

第1表 漁種別施設別隻数

55. 3. 31 現

施設別 漁種別	電信電話併設船	電 話 船	合 計	前 年 度 計	前 年 度 比
官 庁 船	3 隻	3 隻	6 隻	6 隻	100 %
底 曳 船		11	11	11	100
い か 専 業		55	55	103	53. 4
いか・ます兼業		43	43	31	138. 7
そ の 他		38	38		
合 計	3	150	153	151	101. 3

第2表 地域別トン数別隻数

55. 3. 31 現 (隻)

地域 トン数	官 庁	沢 辺	深 浦	鯿 ヶ 沢	市 浦	下 前	小 泊	三 厩	青 森	八 戸	岩 館	合 計
10 トン 以 下		2	8			23	23	4	1		1	62
11 ～ 20	1		4	8		12	11	7				43
21 ～ 50	3		4	9	2	8	7		1	1		35
51～100		1	1	1		1	5		2			11
101 トン 以 上	2											2
合 計	6	3	17	18	2	44	46	11	4	1	1	153
前年度計	6	3	16	17	2	42	48	11	4	1	1	151
前年度比	% 100	% 100	% 106. 3	% 105. 9	% 100	% 104. 8	% 95. 8	% 100	% 100	% 100	% 100	% 101. 3

第3表 空中線電力別隻数

55. 3. 31 現 (隻)

種 別 \ 出 力	1 0 W	5 0 W 以 上	電信電話併設	合 計
官 庁	2	1	3	6
民 間	92	55		147
合 計	94	56	3	153
前 年 度 計	96	52	3	151
前 年 度 比	$\frac{94}{96} \times 100 = 97.9$	$\frac{56}{52} \times 100 = 107.7$	$\frac{3}{3} \times 100 = 100$	$\frac{153}{151} \times 100 = 101.3$

第4表 船舶局従事者選任数

55. 3. 31 現

年 月 日 \ 資 格	電 信 級	電 話 級	特 技 (甲)	合 計
昭和 55 年 3 月 31 日	5	54	94	153
昭和 54 年 3 月 31 日	5	72	96	173
前 年 度 比	$\frac{5}{5} \times 100 = 100$	$\frac{54}{72} \times 100 = 75$	$\frac{94}{96} \times 100 = 97.9$	$\frac{153}{173} \times 100 = 88.4$

第5表 取扱通信実績

55. 3. 31 現

種別 月	指導監督	漁業	気象	事故	保安	相手局数	通信時間
	件	件	時	件	件	局	時
4	4,293	2,643	22.30	1	22	1,078	453.00
5	7,038	5,102	23.15	4	12	2,786	468.10
6	4,197	2,962	22.30	0	15	2,374	453.00
7	6,697	5,586	23.15	1	13	4,330	468.10
8	5,879	4,656	23.15	0	13	4,029	468.10
9	5,562	4,891	22.30	0	10	3,551	453.00
10	5,141	4,459	23.15	2	15	3,167	468.10
11	3,356	2,524	22.30	0	13	1,978	453.00
12	1,582	874	23.15	0	13	1,036	468.10
1	929	430	23.15	0	17	539	468.10
2	784	255	13.05	0	11	468	424.20
3	1,322	544	23.15	0	12	652	453.00
合 計	45,198	34,926	265.50	8	166	25,988	5,498.20
前年度計	40,223	27,726	273.45	8	178	20,367	5,535.50
前年度比	112.4%	141.3%	97.1%	100%	93.3%	127.6%	99.3%

IV 事業の成果及び今後の課題

1. 事業の成果

- (1) 気象及び漁海況の定時放送により、海難事故の防止と漁業生産性を図った。
- (2) 漁海況情報事業の強化により日本海における予報事業の円滑化と資源究明に貢献した。
- (3) 200海里漁獲報告通信の確保により、船舶の安全操業に寄与した。

2. 今後の課題

- (1) 検査業務促進を図ると共に検査未了船の解消に努める。
- (2) 割当時間を有効に利用し、通信能率を高めるため、沖合当番船方式への移行が必要と思われる。
- (3) 局舎並びに無線機器の老朽化に伴ない、改築及び更新が望まれる。